

〈まぜこぜたい(新座市ケアニン上映を成功させる会)様〉

上映日: 2018/02/11(日) 場所: ふるさと新座館ホール(埼玉県新座市)



会場の様子



(上)上映後のお鍋の会 (下)実行委員には医療ケアが必要なお子様とその母親など、様々な方が参加

この映画なら「誰にとっても自分らしく生き続ける地域づくり」に必ず役立つと思いました

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

きっかけは、藤沢市での試写会に参加したことです。病床にある父(準備期間中に亡くなりました)と関わる息子として、また、はるか昔に介護職として初めて人生の先輩に開き、悩みながらも育てて頂き、今は地域を活動拠点としているものとして観て、とても感動しました。

この感動を共有したい。この涙や感動は垣根を変える力がある。この映画は、介護医療福祉の世界だけのものにしてはあまりにも勿体ない。この映画なら、誰にとっても自分らしく生き続ける地域づくりに必ず役に立つ。この映画の根本に流れている、いのちをどう使って生きるのか？それをどう支えていくのか？自分はどう生きたいのか？時の流れと共に変化する家族とどう向き合って生きるのか？このテーマについて、地域のみならず考えたい。その為にあらゆるジャンルを超えて誰でも参加出来る誰でも主催者になれるまぜこぜの手作りの会にしたい。—そう願って機会を待っていました。そんな折、未来をつくるkaigoカフェ講座に参加して決意表明する機会があり、思い切った心にあったこの企画を目標に掲げました。目的は、その後も誰にとっても自分らしく生き続けられる地域づくりにこれからつながる映画会及び講演会にすることでした。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

フリーで活躍する理学療法士、保育士、看護師、デイサービス管理者や認知症もある方、知的障害もある方、焼菓子店(B型就労支援)管理者及びメンバーの方々、社会福祉士、管理薬剤師、母親、子ども(医療ケアが必要でもあるお子様)。介護福祉士。ケアマネージャー、美術講師、大学生、高校生、中学生。手話通訳者などです。

また、商店会、NPO、スーパー、まぜこぜ食堂参加のこども 全国のケアニンファンなどからも間接的支援をいただきました。

●協力の得られた団体はありましたか？

企画書を作り直接交渉し、新座市、新座市教育委員会、新座市社協から後援をいただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

参加費から捻出しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

人から人へ。ご縁からご縁へ。熱く思いを語り伝わっていくこと。(古いですが)

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

介護職とは無縁の他業種の方から、「とても感動した。認知症について知ることが出来てよかった。誰かにつなげたい。」と仰っていたのが印象的です。他にも「来年ですが介護福祉士の国家試験を受けます！頑張ります！！」「今ではあまり想像できませんが、あんなあなたがい方々に見守られたいと思いました。」「母を思い出して泣きました。素晴らしい介護の仕事を正しく理解してもらって認知症の人たちを一人の人間として携わってもらいたいと思いました。」「泣かされましたよ！！若いケアニンもって沢山育てほしいです。切実な84歳」などの感想をいただきました。

映画終了後の加藤忠相氏の講演を聞いてさらに感動が広がったようです。

実行委員からは「想いは間違っていなかった。また明日から楽しく頑張りたい！」「子どもが全く違う世界のひと知り合いになった。」

「仕事以外の地域活動に参加してみても、子どもたちも協力したいと実行委員になったり、とても楽しかった。また何かやりたい。」「両親が安心できる環境を整えて行きたいです。」といった感想もありました。

市の枠組みを超えて、防災イベントの参加、お互いの事業所訪問、など新しいネットワーク(まぜこぜネットワーク)につながりました。

「いったい100名なんて集めることができるだろうか？」という不安からのスタートでしたが、仲間が一人ひとり増えて、人から人へつながっていく力がこれほどすごいものか。と感動しました。参加してくださった皆様、素敵な映画、加藤忠相氏、一緒に作り上げてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。皆で課題解決しながらご縁が広がり、焼菓子販売コーナーが出来たり、ギリギリになって手話通訳者さんが派遣決定になった時もうれしかったです。普段やらないことにチャレンジしてやり遂げた方が喜んでる姿にも感動しました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

盛会を祈ります。終了後に同会場で鍋の会をしました。楽しかったです。

ご担当者: 大内 巖児さん

まぜこぜたい(新座市ケアニン上映を成功させる会)

まぜこぜたい 誰もが自分らしく生き続けることが出来る地域を目指して活動するボランティア団体(まぜこぜ食堂 2か所、防災イベントへの協力など)